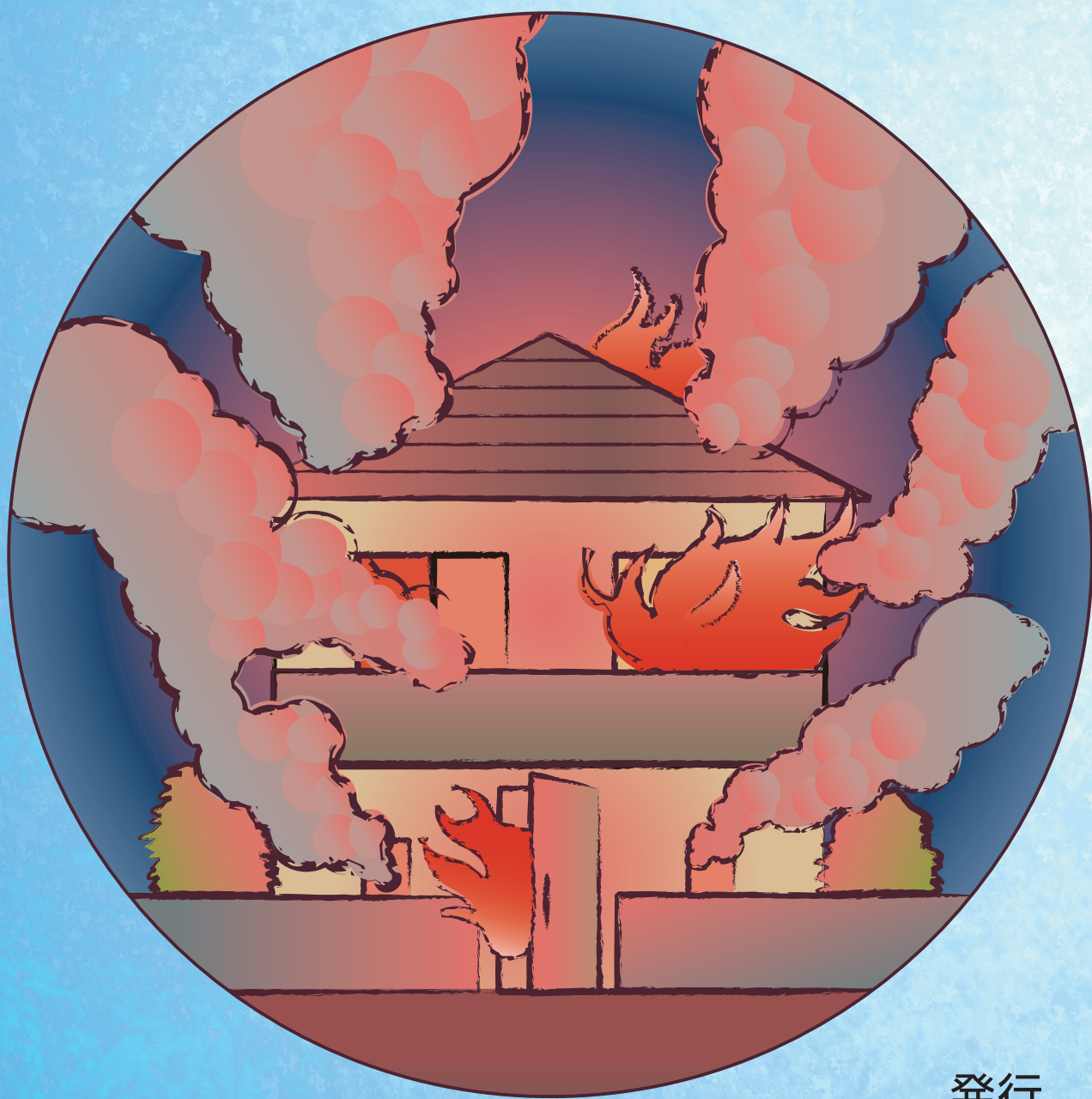
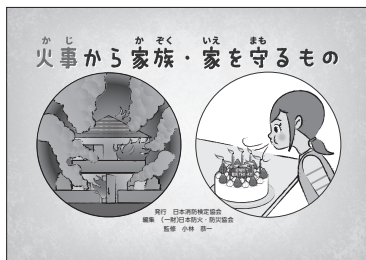


か じ 火 事 から 家 族 ・ 家 を 守 る も の



発行 日本消防検定協会
編集 (一財)日本防火・防災協会
監修 小林 恭一



火事^{かじ}から家族^{かぞく}・家^{いえ}を守るもの^{まも}

1

みなさん、「火^ひ」を見たことはありますか？

問いかける感じで

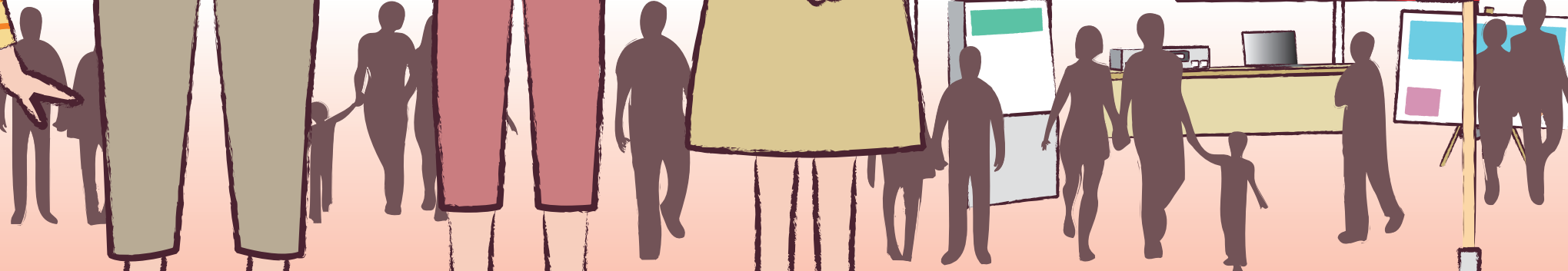
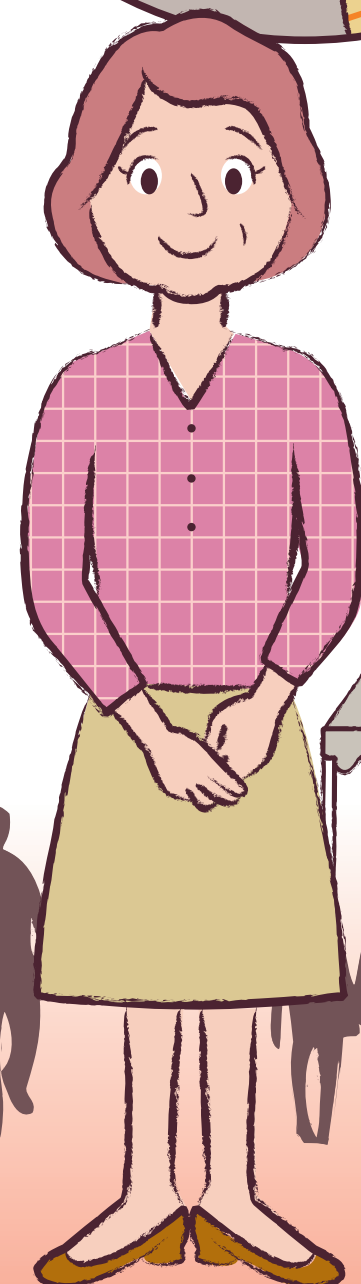
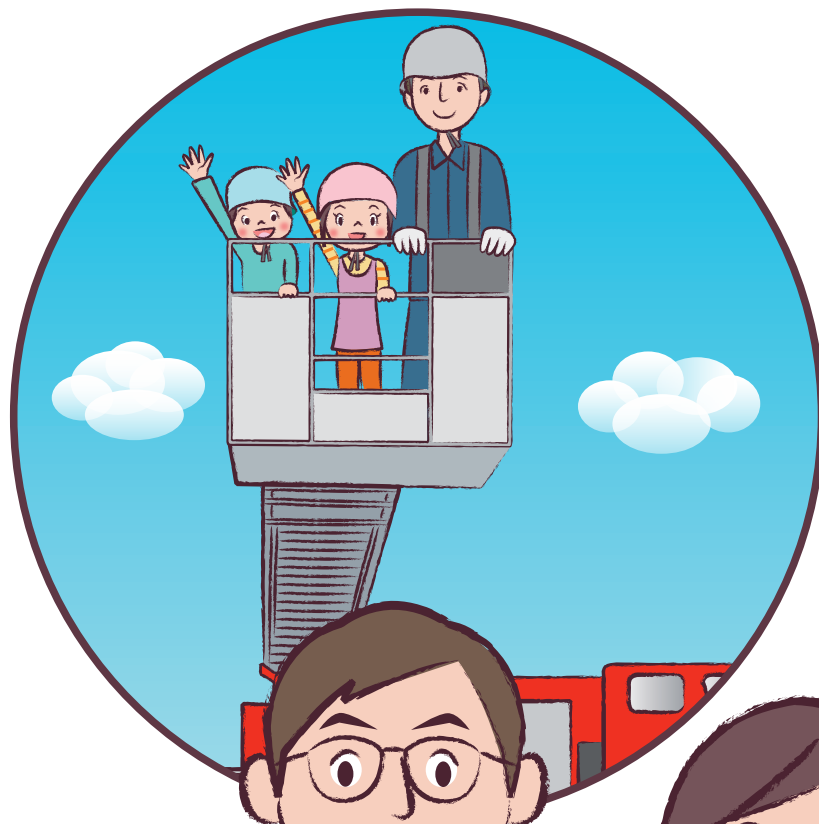
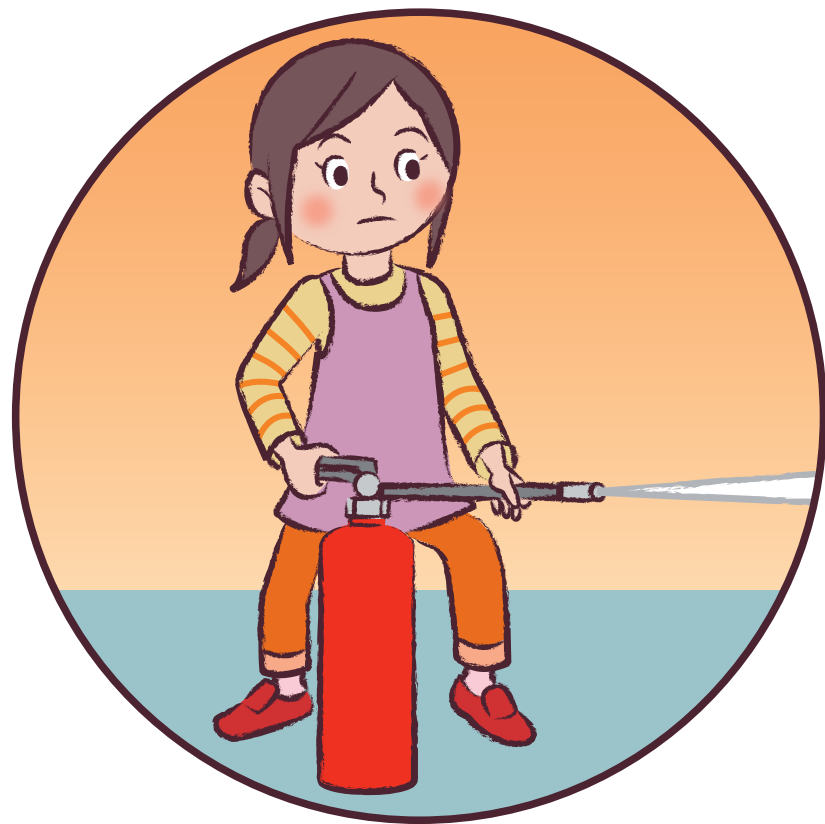
お誕生日^{たんじょうび}に、ケーキの上^{うへ}のろうソクに「火^ひ」をつけてお祝い^{いわ}しますね。

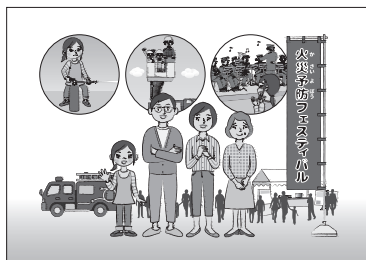
低い声などで怖さを演出しながら

その「火^ひ」は、はじめは小さいですが、他の物^{ほかのもの}に移^{うつ}ると黒い煙^{けむり}をモクモクと出^だしながら、やがてだんだん大きくなり、火事^{かじ}になります。

これから、火事^{かじ}から、おうちとみなさんの命^{いのち}を守る機^き械^{かい}について、お話し^{はな}します。

――めくる――





私はハナコ、小学校3年生です。

子どもつぽく

私の家族は、お父さん、お母さん、
おばあちゃん、私の4人で暮らして
います。

ある日、家族みんなで、火災予防
フェスティバルに行きました。

消防音楽隊の演奏を聴いたり、消
火器で火を消したり、はしご車に
乗って高いところから遠くも見まし
た。とても楽しかったです。

ーめくるー



住宅用火災警報器
家のどこに
取り付ければいいのか？

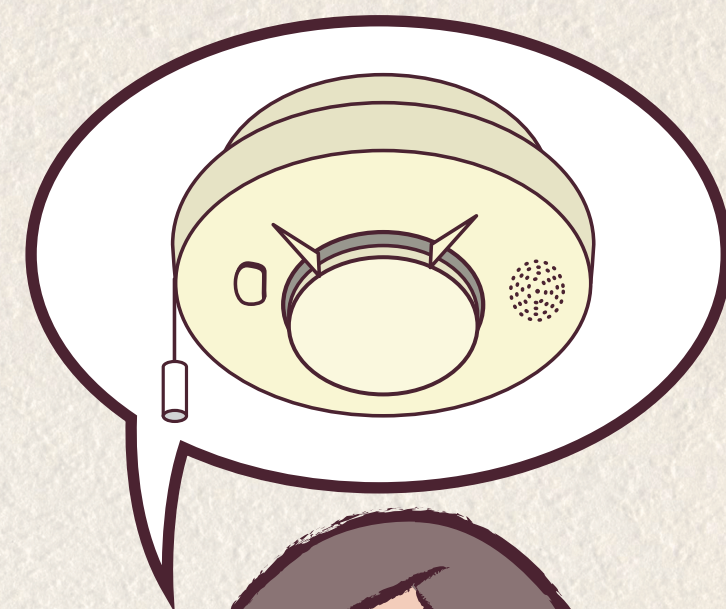
火事から命を守る

煙式

手冊は以下のQRコードからダウンロードできます。

一般財団法人
日本防火・防災協会
日本消防検定協会

10年を目安に取りかえましょう。





その火災予防フェスティバルの会
場で、女性防火クラブの方に、

女性防火クラブ

「おじょうちゃん、住宅用火災警報
器って知ってる？」

ハナコ

「ケイホウキ？ ホットケーキのなか
ま？」

子どもっぽく

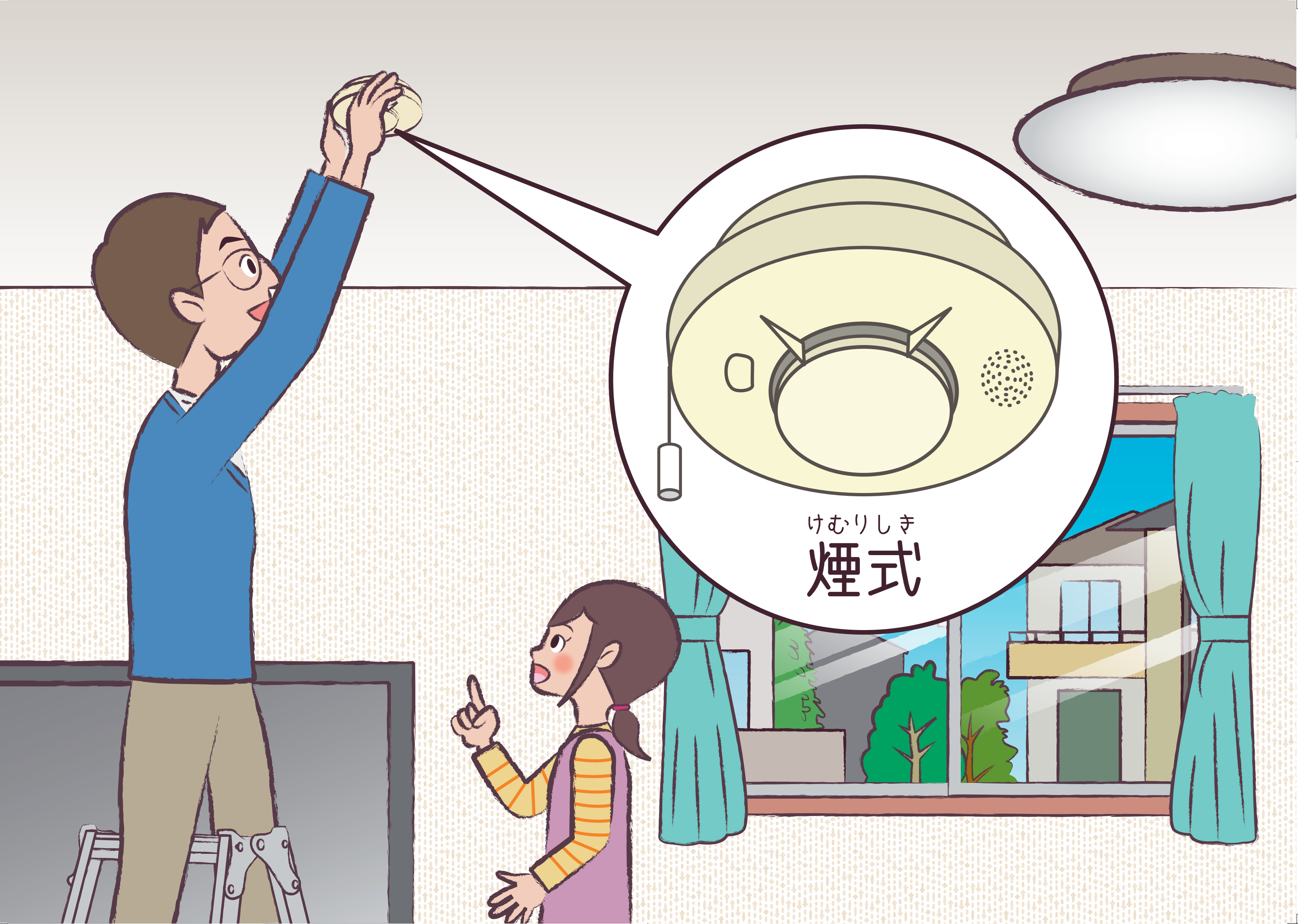
女性防火クラブ

「怖い火事が起きたときに、音や言葉
で知らせてくれる機械で、とても大
切なものなのよ。あなたのおうちに
もあるから、天井の方を見上げてみ
てくださいね。」

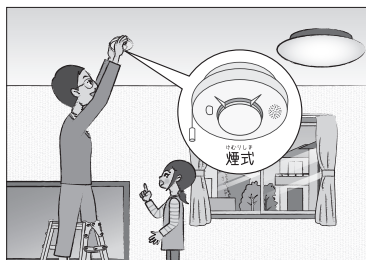
お父さん、警報器の点検はしてい
ますか？

定期的に警報器のボタンを押して、
点検してみてください、簡単にでき
ますよ。」

— めくる —



けむりしき
煙式



早速、家に帰ってお父さんが天井にある警報器のボタンを押して点検をしてみると、ちゃんと動かないものがあることが分かりました。

ハナコ 「お父さん、このケイホウキ、いつ付けたの？」

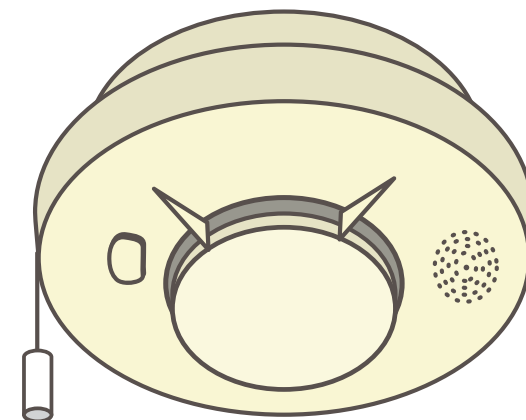
お父さん 「ちょうど、ハナコが生まれた、10年前ぐらいだったと思うよ。
そういえば、警報器の寿命は10年くらいと聞いてたな。これは新しいものに買い替えないとダメだ〜」

困った様子で

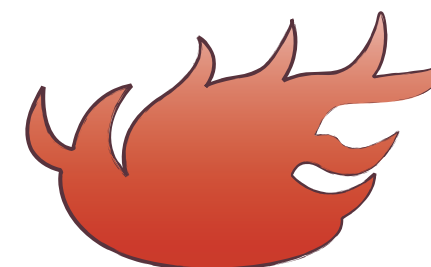
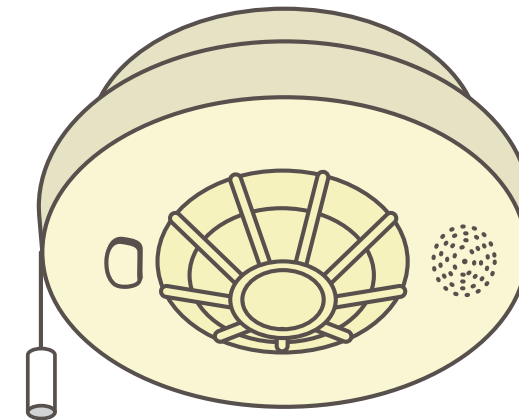
ーめくるー



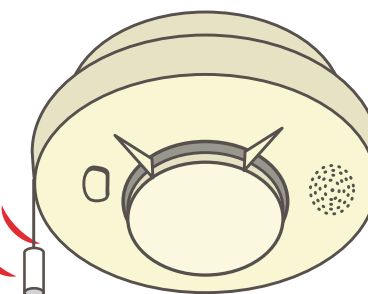
けむりしき
煙式



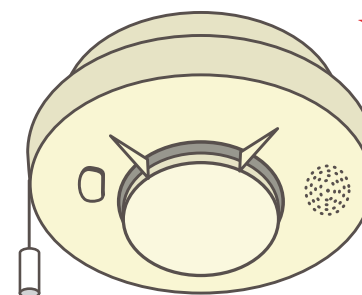
ねっしき
熱式



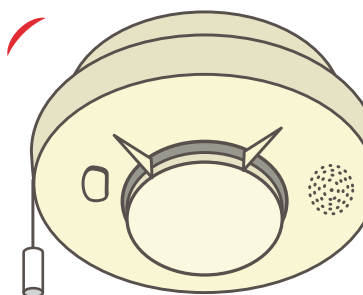
おやき
親機

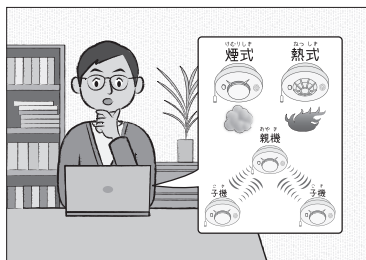


こき
子機



こき
子機





つぎ
次の日、お父さんは警報器について調べました。

か
火事の煙に反応して火事を知らせるもの。

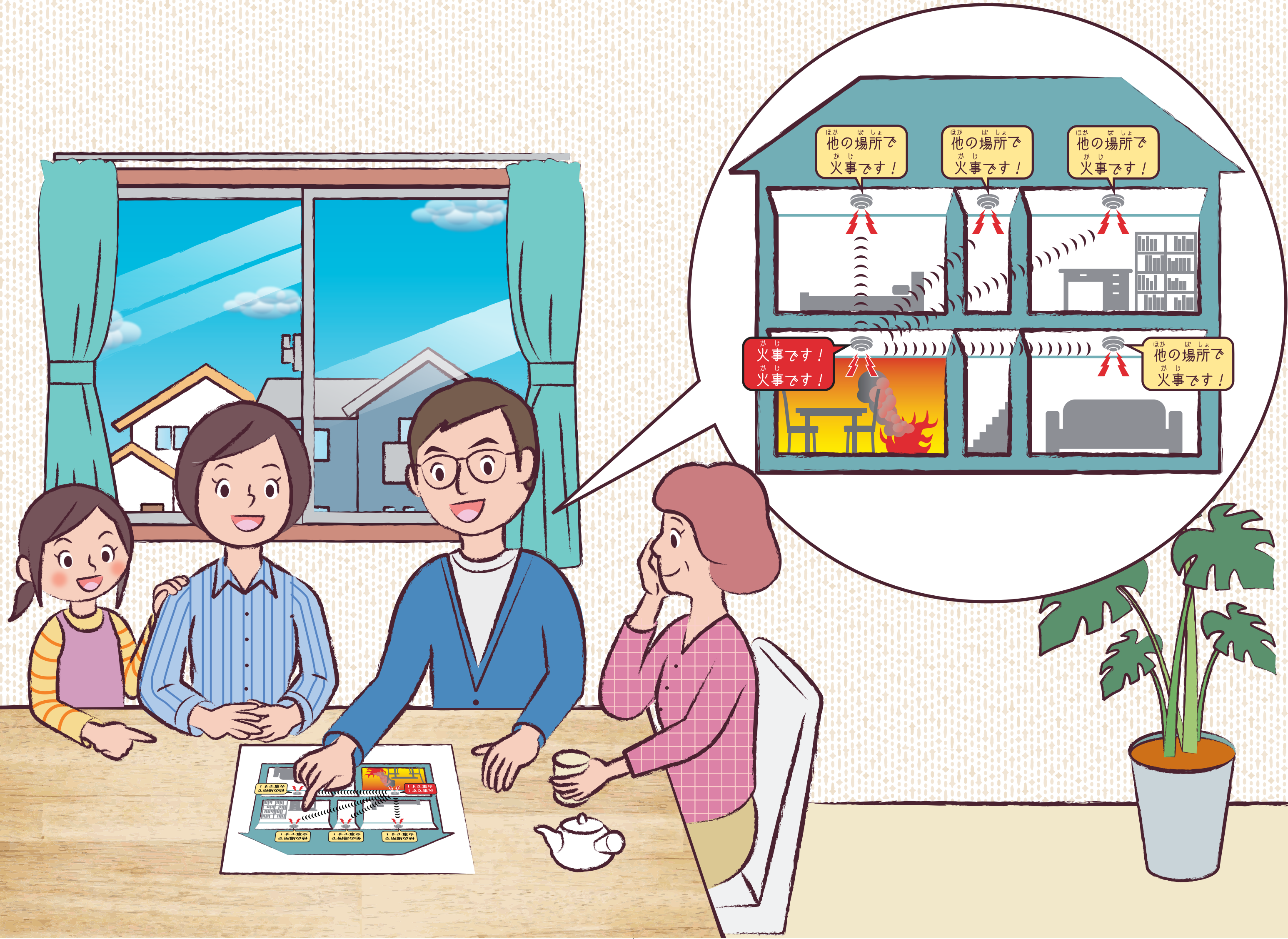
か
火事の熱に反応して火事を知らせるもの。

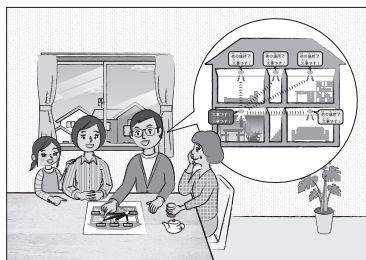
けいほうき
1つの警報器が反応すると、家じゅうの警報器がみんな音を鳴らす、連動式というもの。

お父さん

「いろいろな種類があって迷うな・・・」

—めくる—





お父さん

「今度家に付けるなら、煙に反応する連動式の警報器にしようと思うんだ。」

ハナコ

「レンコンなら分かるけど、レンドウってなに？」

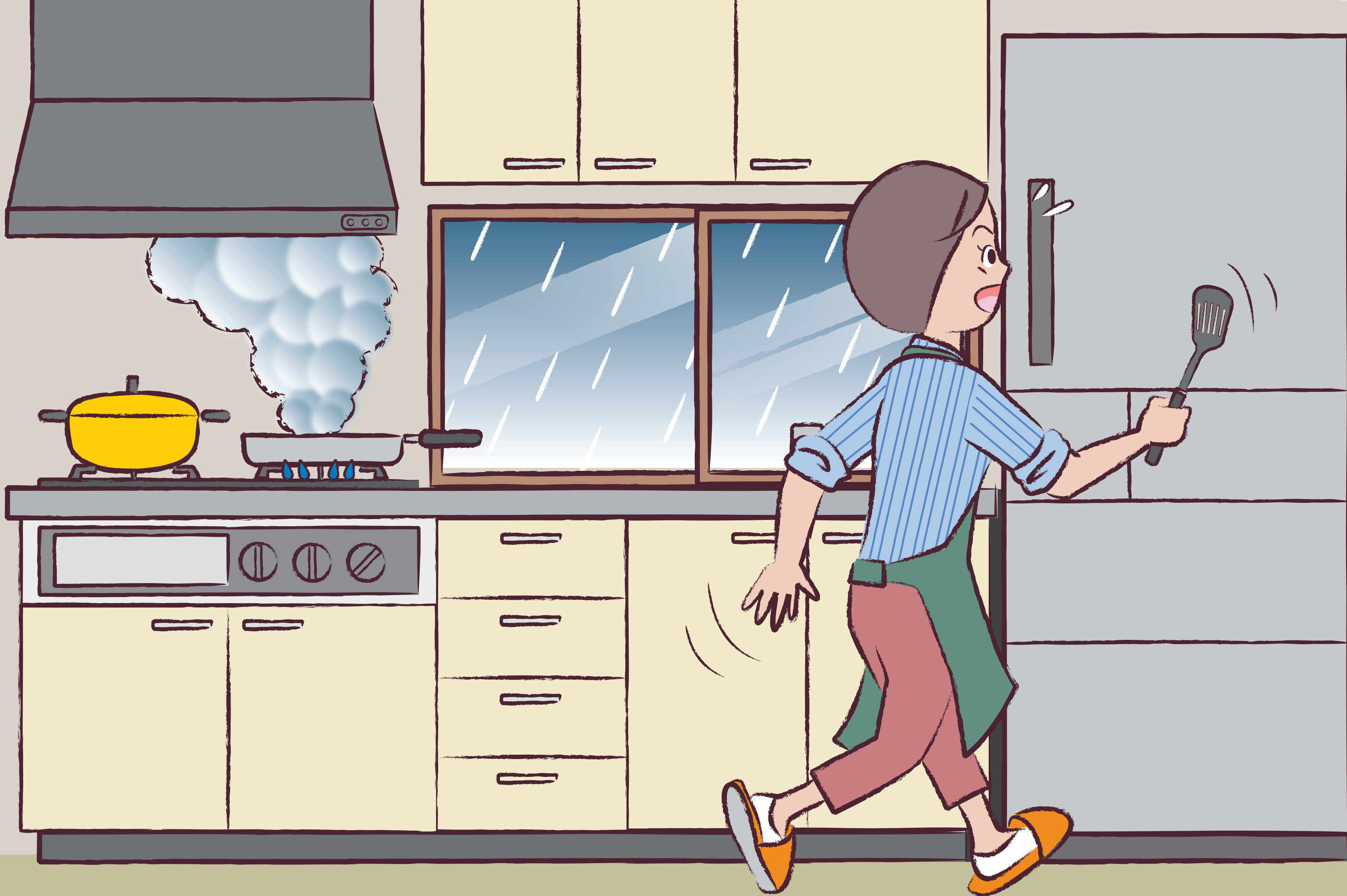
お父さん

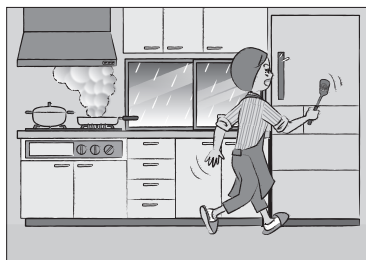
「連動っていうのはね、近くの友達が1人歌い始めると、周りの子も一緒に歌い始める、みたいなことだよ。」

1つの警報器が火事を見つけると、周りの友達も連動して、火事を知らせてくれるから、夜、キッチンで火事があったとき、耳が遠いおばあちゃんやお父さんたちの部屋でも火事を知らせてくれて安心だからね。」

早速、お父さんは連動式の警報器を付けました。

――めくる――





ある日の夕方、お母さんが夕飯に
食べるハンバーグを作るため、フラ
イパンを火にかけていましたが・・・

お母さん

「あら、大変！ 雨が降ってきたわ。
急いで洗濯物を取り込まなくちゃ！」

慌てた様子で

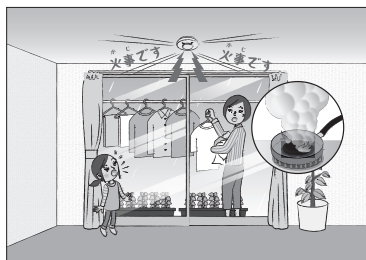
お母さんは、そう言って台所から
離れてしまいました。

――めくる――

か
じ
火事です

か
じ
火事です





すると、フライパンから黒い煙が
モクモク。

あつ、危ない！
う！
火事になっちゃ

「ピーピーピー 火事です！ 火事
です！」と警報器が鳴りました。

他の部屋にいたお母さんは、慌て
て台所に戻り、火を止め、

お母さん
「危なかったわ！ すぐに気づいて本
当によかった。新しい警報器に交換
しておいてよかった！」

ハナコ
「私もビックリした！
明日、学校で避難訓練があるから、
今日の事をみんなに教えなくちゃ！」

ーめくるー

緊迫した様子で

住宅用火災警報器
の音

ほっとした様子で

驚いた様子で

か
じ
火事です

か
じ
火事です





学校での避難訓練が終わった後、
教室で、

ハナコ

「昨日、お母さんが料理してたとき、
フライパンからすごい煙が出て、
『ピーピーピー』火事です、火事です」
ってケイホウキが教えてくれたんだ
よ。火事にならなくて済んだの。」

学校の先生

「そう、ハナコさん、火事にならなく
てよかったわね！
それでは、クラスのみんなに宿題
です。」

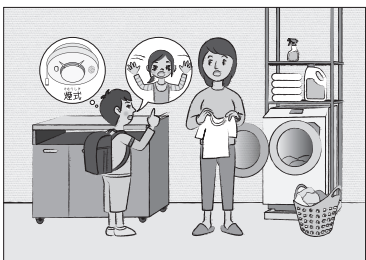
みんなもおうちの人と一緒に、お
うちの警報器の点検を試してみましょ
う。」

児童

「はーい！」

ーめくるー





クラスメイトのタロウくんが家に
帰ると、「宿題、宿題」と言いながら、
早速、

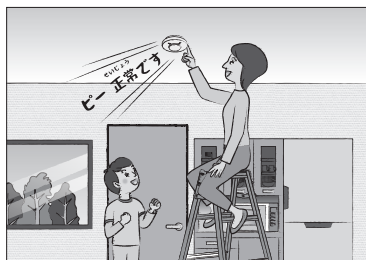
タロウ 「お母さんお母さん、うちのケイホウ
キはどこにあるの？ 点検^{てんけん}して
る？」

タロウのお母さん^{かあ} 「どうしたの？ 急に^{きゆう}。」

タロウ 「宿題^{しゅくだい}なんだよ。
ハナコちゃんの家^{いえ}が、ケイホウキ
のおかげで火事^{かじ}にならなかったん
だって。」

ーめくるー





タロウのお母さん^{かあ}

「そんなことがあったの！ ハナコちゃん家、火事にならなくてよかったわね。」

うちの警報器は寝室でしょ、台所でしょ、階段にもあるわよ。」

タロウ

「ケイホウキにあるボタンを押せば、火事的时候、ちゃんと動くか点検できるんだって。」

タロウのお母さん^{かあ}

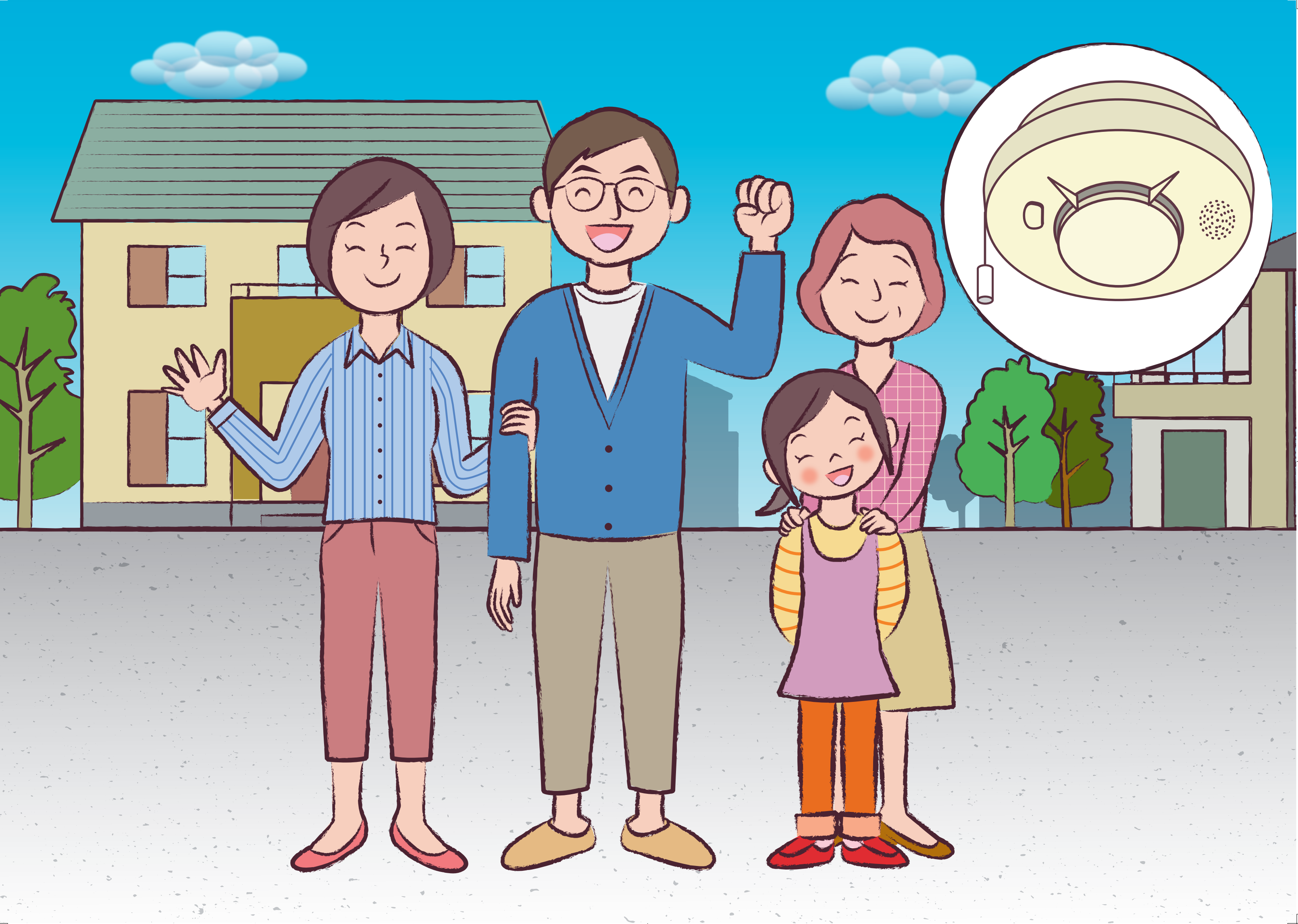
「点検のボタンね。押してみるわね。」

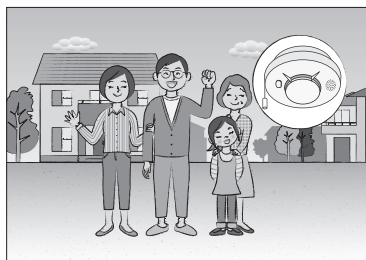
タロウ

「正常だって、よかった。これで安心だね。」

住宅用火災警報器
の音

ーめくるー





みなさん、どうでしたか？

問いかける感じで

火事は身近なところで起こる、とても怖いものです。

それを知らせる住宅用火災警報器について学びましたね。

みなさんのおうちの警報器がどうなっているか、お父さんやお母さんと一緒に調べてみてくださいね。

— おしまい —